

道徳便り



金沢錦丘中学校
令和4年12月16日(金)

人権について考える集会

「認め合い」あふれる錦丘中学校に！



12月7日(水)に人権について考える集会を行いました。今年度のテーマは「認め合い」。生徒会執行部の皆さんがいろいろな準備をしてくれました。まず最初は仲間作りのエンカウンターで、友達の短所を長所に言い換える活動をしました。ふせんに書き込んだ自分の短所が長所になって返ってきたのを見て、うれしそうに、また照れくさそうにしている姿がありました。次は事前に行ったアンケートの結果について報告がありました。学校生活の様々な場面で自分が認められたと感じていることがよくわかりました。その後、クラスごとに「錦丘中学校を、さらに『認め合い』にあふれる学校にするために、私たちの学級にできることは何か」について考えました。人権は自分たちにとっても身近なものだと感じ、これまでの自分たちについて振り返り、これからの自分たちについて考えるよい機会になりました。

《各クラスの「認め合い」》

1A：誰とでもコミュニケーション。相手の素敵なところを知る。

1B：1人ひとりの個性を大事にするために、リフレーミング（ポジティブに考える）する。

1C：コミュニケーションをとる。

勇気を持って／挨拶／最後まで聞く／ポジティブ発言／相手の気持ちを考える

2A：反応をする。（発表や挨拶） 静かに聞く／切り替え／聞く姿勢／挙手

2B：いろいろな人と積極的にコミュニケーションをとる。相手を大切にするために日々の感謝を忘れない。

2C：いつでもお互いの長所も短所も伝え合う。

3A：長所と短所を大切に。学級目標の「多様性は可能性」を大切に。

3B：先入観や偏見を持たない。積極的なコミュニケーションを！

3C：コミュニケーションを大切にする。 意見を持つ／言葉にする／自分も相手も大切に



《みんなの感想です》

1年A組 河原 璃來

僕は人権集会で、いろいろなクラスの課題や目標を聞いて、考えて終了じゃなく、しっかり実践することが大事だと思いました。ひと口にコミュニケーション、相手を理解と言っても、人それぞれ解釈の違いはあると思うけど、自分の思ったことを、実行できたら良いなと思いました。

僕はコミュニケーションが苦手だけど、あいさつや授業の交流などでも、コミュニケーションと言えると思うので、そういう小さいことからでも、1Aの課題改善につなげるため、頑張りたいです。

1年B組 佐部 眞子

自分の短所をほめられたのが、すごく心がポツとしました。だからといって、甘えてはいけなけれど、これから、いろいろな人の短所や長所を知っていききたいなと思いました。お互いを認め合える錦丘中学校にするための取組を考えて、最後に全体で交流して案をまとめるときに、いっぱい意見が出ていて良かったです。個性を尊重するためにリフレーミングをすることが、1Bの取組案になったけど、これを人権週間のときだけでなく、いつどんなときでもできるようにしていきたいと思いました。

1年C組 中谷 龍馬

今日の「人権について考える集会」を通して、あらためて人権とは何か、認め合うにはどうすればよいかを深く考えられました。小学校では、人権は生まれながらにどんな人も持っている権利で、いじめなどは絶対にしてはいけないと教わりました。でも人権について、実際に活動したことはありませんでした。だから、これからクラスや学年で出た意見をもとに、行動にうつしてみたいです。認め合う心を日常からもち、否定的にならないように生活態度を見つめ直し、よりよくしたいです。

2年A組 山本 未紀

「認め合い」について考えてみて、認め合うことは学校生活だけでなく、社会に出ても必要なことなのではないかと思った。お互いを認め合うことによって、お互いの人権が守られる、嬉しくなるなど、いいことがたくさんある。私たちのクラスでは「反応する」ということが課題になったが、これからクラス全体が反応することによって、よりよいクラス、学年、学校になっていったらいいと思う。意識的に反応するようにして習慣化し、人としてもより良くなっていけるようになりたい。

2年B組 清水 莉乃愛

この人権集会で自分は、班やクラスの交流を通して二つ大切にしたいと思ったことがあった。一つ目はクラスの人との挨拶やコミュニケーションをとることで、どんな人でも仲が良い良くないに関係なく挨拶をして、班活動でも全員とコミュニケーションをとっていききたいと思った。二つ目は、相手を尊重することで、どんなことでも否定せずに良いように捉えていこうと思った。この二つを頭に入れて「認め合い」ができるクラスづくり、学校づくりを頑張っていきたいと思う。



2年C組 宮田 あかり

「認め合い」というテーマをもとに人権について考えると、いろいろな疑問や問題点が出てきました。しかし改善策を考えるときに、あまり大きく考えなくてもよいかもしいなと思いました。普段からなにげなくしていることが改善策につながることもあるし、自分がやろうと心がけていたことが、実はそれにつながっていることもあり、逆に問題点の方も同じでした。人権はいろいろな所でつながっているからこそ、人を傷つけやすいものです。しかし、反対に考えると身近にあるからこそ人を助ける手段の一つになると思います。だからこれから、自分を認めて、いろいろな人を認め、自分にとっても相手にとっても楽しい環境をつくりたいです。

3年A組 下地 葵

人権集会の前、私は自分の短所や人の短所はあまり伝えないほうが良いと思っていたけど、長所とともにお互いの短所まで分かりあってはじめて深く知りあえて認め合えるのかな、と思いました。また、自分の短所はポジティブにもとらえられることを感じられたり、それが長所にもつながることが分かったりしたので良かったです。人権集会をして、偏見や先入観にとらわれずに、良い点を見つけることが大切だと分かったので、まずはもっといろいろな人のことを知りたいと思いました。

3年B組 橋川 翠

今回の人権集会を通して「コミュニケーション」という言葉がとても心に残りました。普段の生活で一部の友達以外の人と話す機会は授業中の限られた班だけ、これからは「おはよう」などの簡単な挨拶はもちろん、何気ない会話を積極的に行う必要があると感じました。そのためにはまず、授業時間外に誰かに関心をもって自分から話すことを心がけていきたいと感じました。

3年C組 谷口 紗菜

人権について守らなければいけない権利だということは、知識として知っていましたが、あまり意識してきませんでした。今回、班、クラスで人権について話をし、難しかったけれど深まったと思います。感謝の気持ちや尊敬するところは普段思っている言葉にすることは少ないですが、伝えることの大切さを知って、勇気を出して言葉にしたいと思いました。やはりみんな違ってみんないいと思うし、個性のあふれる錦丘中学校の良さが、さらに活かされるといいなと思います。

《生徒会からの提案「やさしさの木」》

3年リーダー会が台紙を作成してくれました。

お互いの良さを認め合い、花型に書いて掲示しています。「いいね」や「ありがとう」にあふれています！

